

「あさくらを、食べる」

～朝倉ヒュッゲ・プロジェクト～



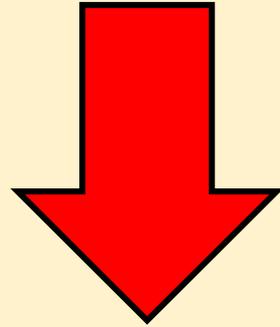
朝倉高校 地域活性化戦略チーム

●各地で行われてきた活性化政策を調べて、私たちが考えた2点

① 活性化政策は「一過性」ではなく、「持続可能」なものであること。

② 広い地域全体を一気に活性化することはなかなか難しいのではないかと → 活性化の「拠点地域」を設定し、段階的に進めるアイデアが有効ではないか？

3つの柱から成る地域活性化計画を考案



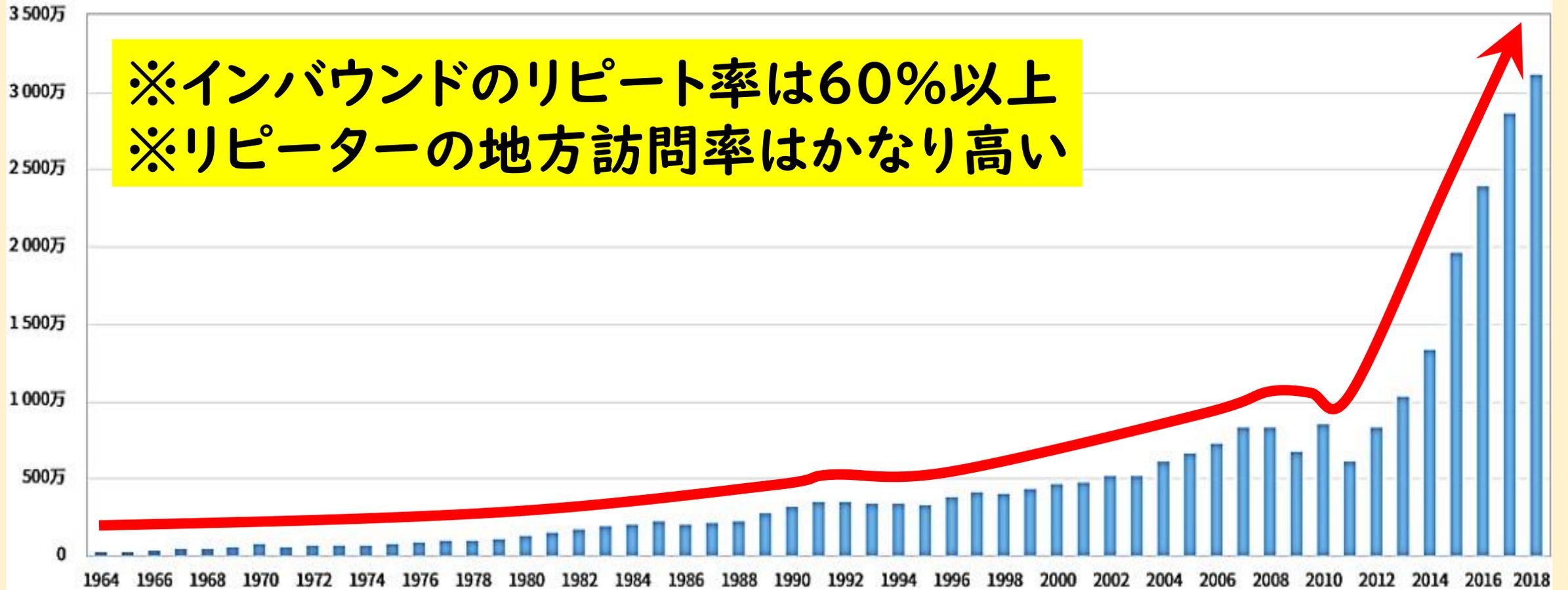
朝倉ヒュッゲ・プロジェクト

●1つめの柱(視点)

① 「インバウンド」を主要なターゲットにして活性化を考える。

※「インバウンド」=観光目的で日本を訪れる外国人のこと

●訪日外国人数の推移



●2つめの柱(視点)

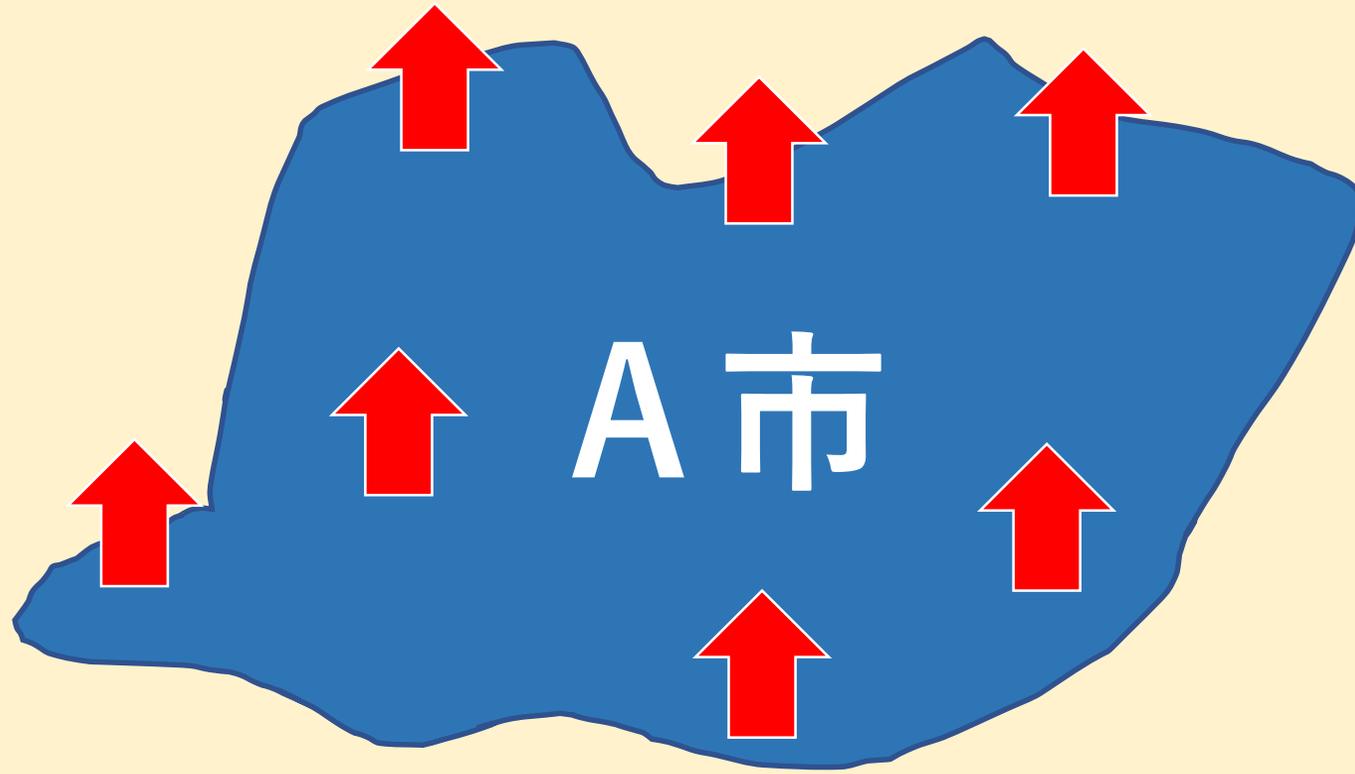
- ① 「コアフィールド」を新規に設定し、経済活性化の「中核地域」、「先行地域」として活性化を進める。

※「コアフィールド」=地域開発の中核地域、先行地域

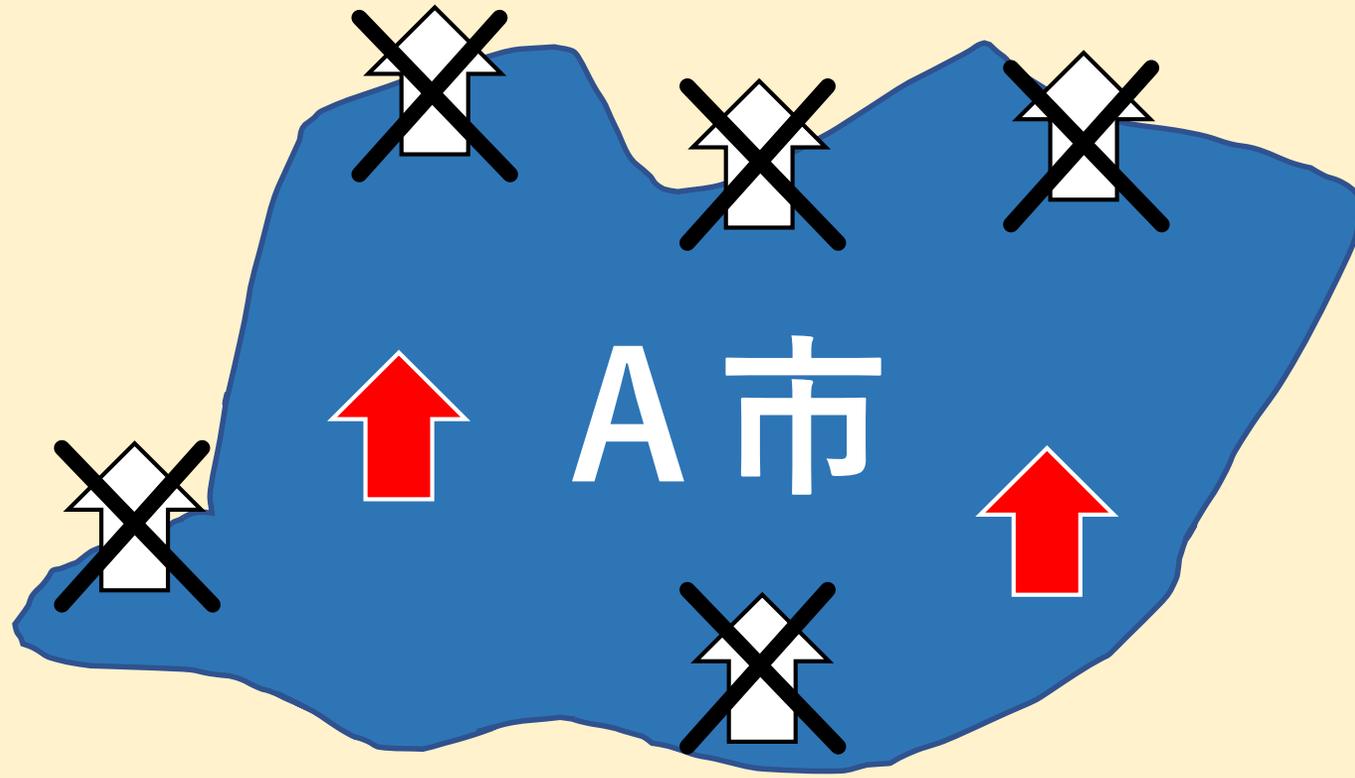
【コアフィールドの考え方】



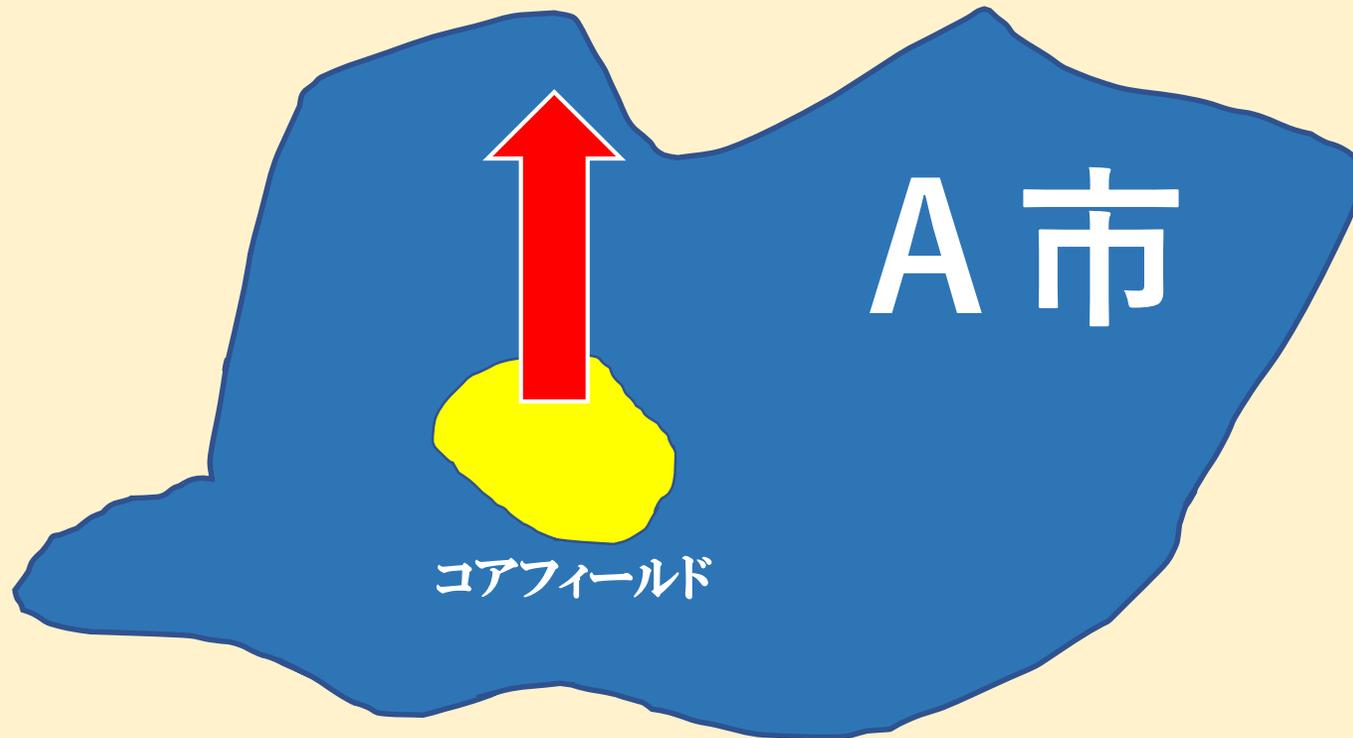
全ての地域を同時に活性化していくことは難しいのではないか？



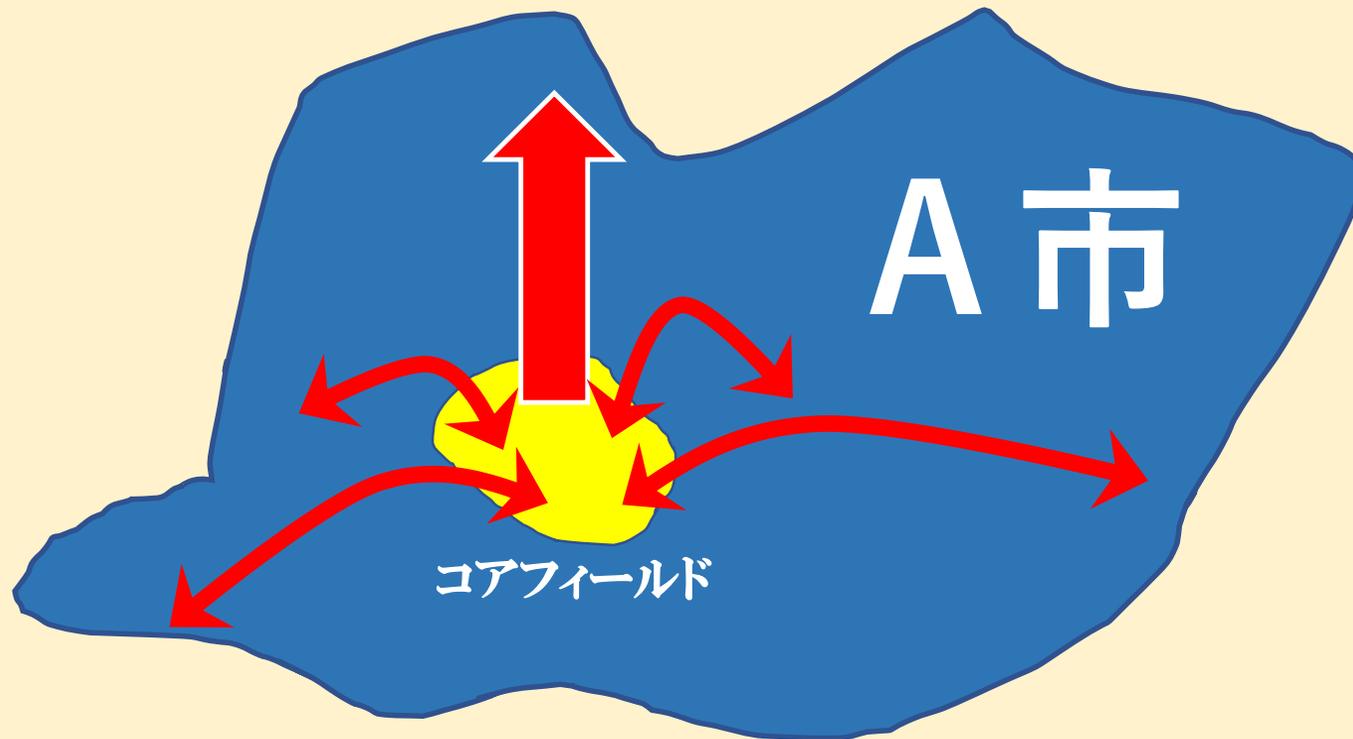
全ての地域を同時に活性化していくことは難しいのではないかな？



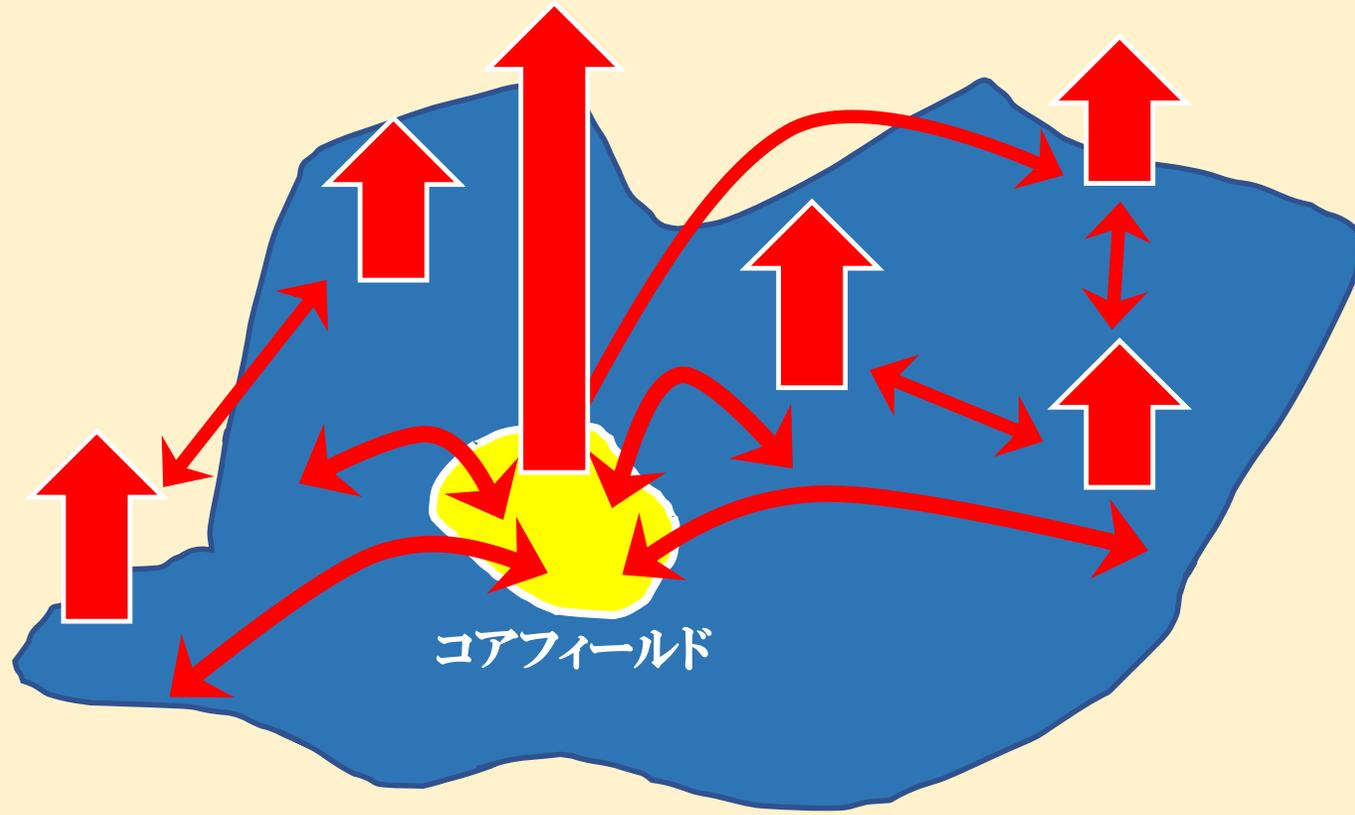
【 先行中核地域(コアフィールド)を設定 】



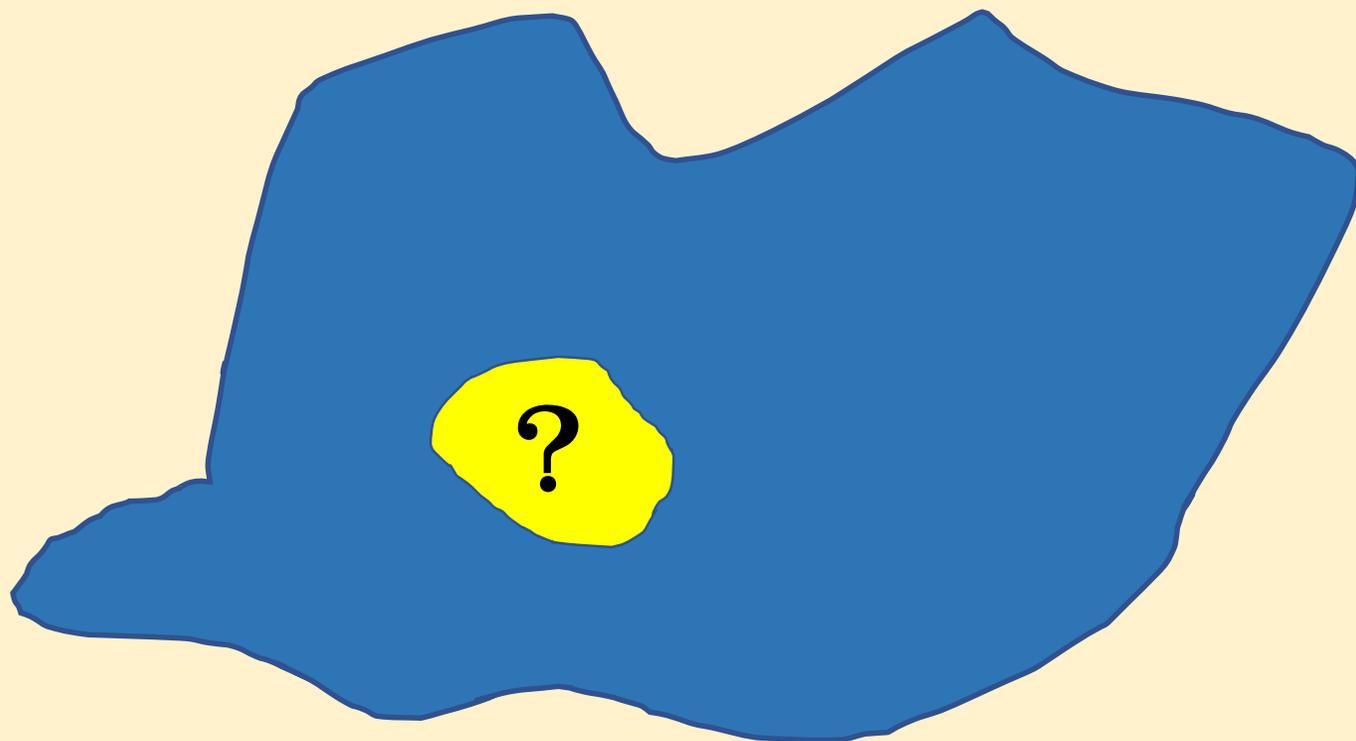
【 コアフィールドを核に他地域と有機的に連結 】



【 **コアフィールド**を核として全体の浮揚を目指す！ 】



【では、**コアフィールド**はどこが適切なのか？】



●私たちが設定した**コアフィールド**は……

コアフィールド



甘木と秋月を中心とした地域エリア

【コアフィールドとしての甘木の魅力】

- ①三奈木砂糖やスイゼンジノリなどの魅力的かつ希少な「地元食材」が存在。
- ②高速道路出入口が近くにあり、周辺が開けていること。（交通的優位性）
- ③既存の宿泊施設が複数存在する。

【コアフィールドとしての秋月の魅力】

①「葛」や「ヤマメ」、「蒸し雑煮」などの魅力的な「地元食材」が豊富である。

②伝統的な「観光地」としての優位性。

③秋月城址や目鏡橋、キリシタン橋など外国人にも魅力的な建造物や遺跡が多い。



蒸し雑煮



スイゼンジリ



葛



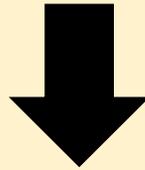
三奈木砂糖



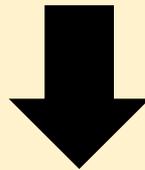
ヤマメ

以上の理由により……

「コアフィールド」となるのは、



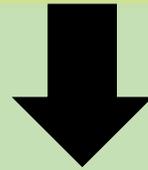
甘木・秋月を含めた地域エリア



**甘木・秋月エリアを最優先の活性化
地域と設定して観光化を促進する！**

例えば・・・、

「食で巡る、筑前の小京都ツアー」開催！



**和菓子、スイゼンジノリ、葛、蒸し雑煮
地酒、美味しい天然水、お米、ヤマメ**



あるいは・・・、

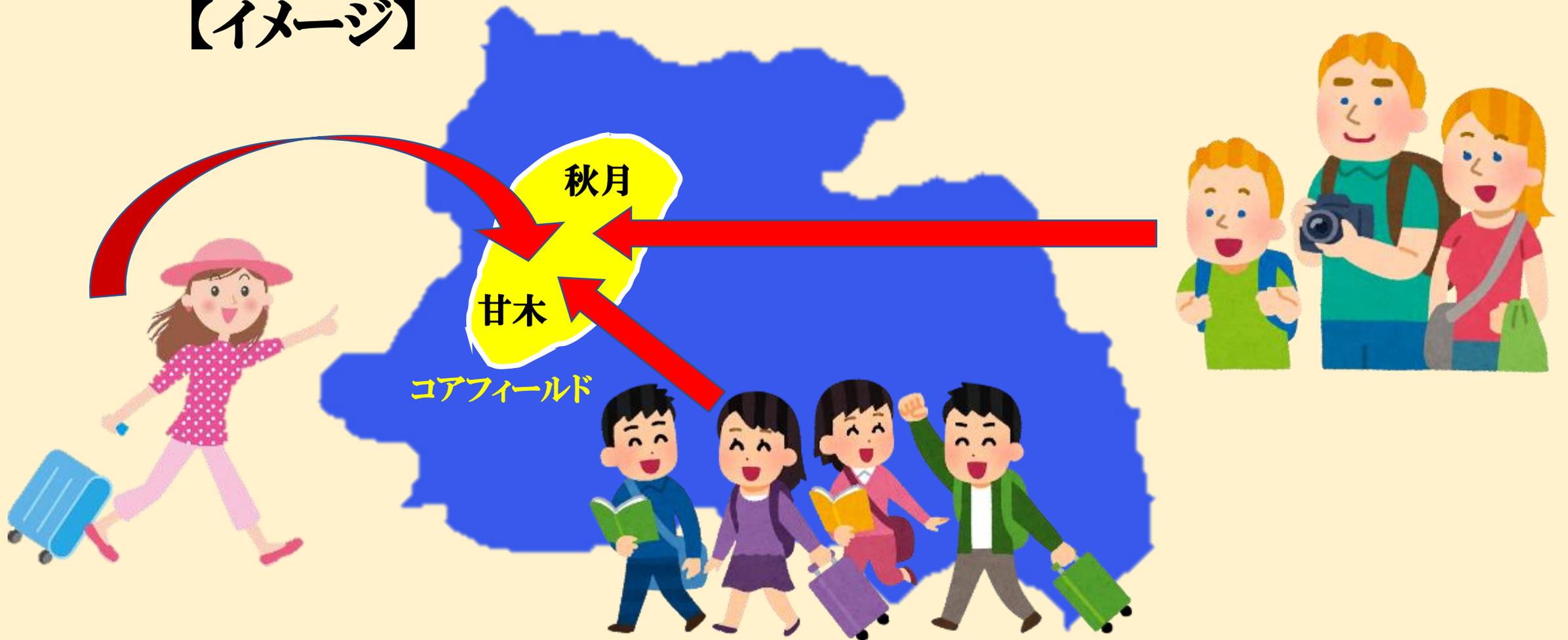
**「全国雑煮フェスティバル in ASAKURA」
や「全国雑煮サミット」の企画・開催！**

**全国各地のご当地雑煮や、地域独特
の変わった雑煮をPRする舞台とする。**



まずはコアフィールドに観光客を呼び込むことに成功させる→しかも「**宿泊型**」の増加を目指す！

【イメージ】



さらにコアフィールド内で宿泊した観光客には……

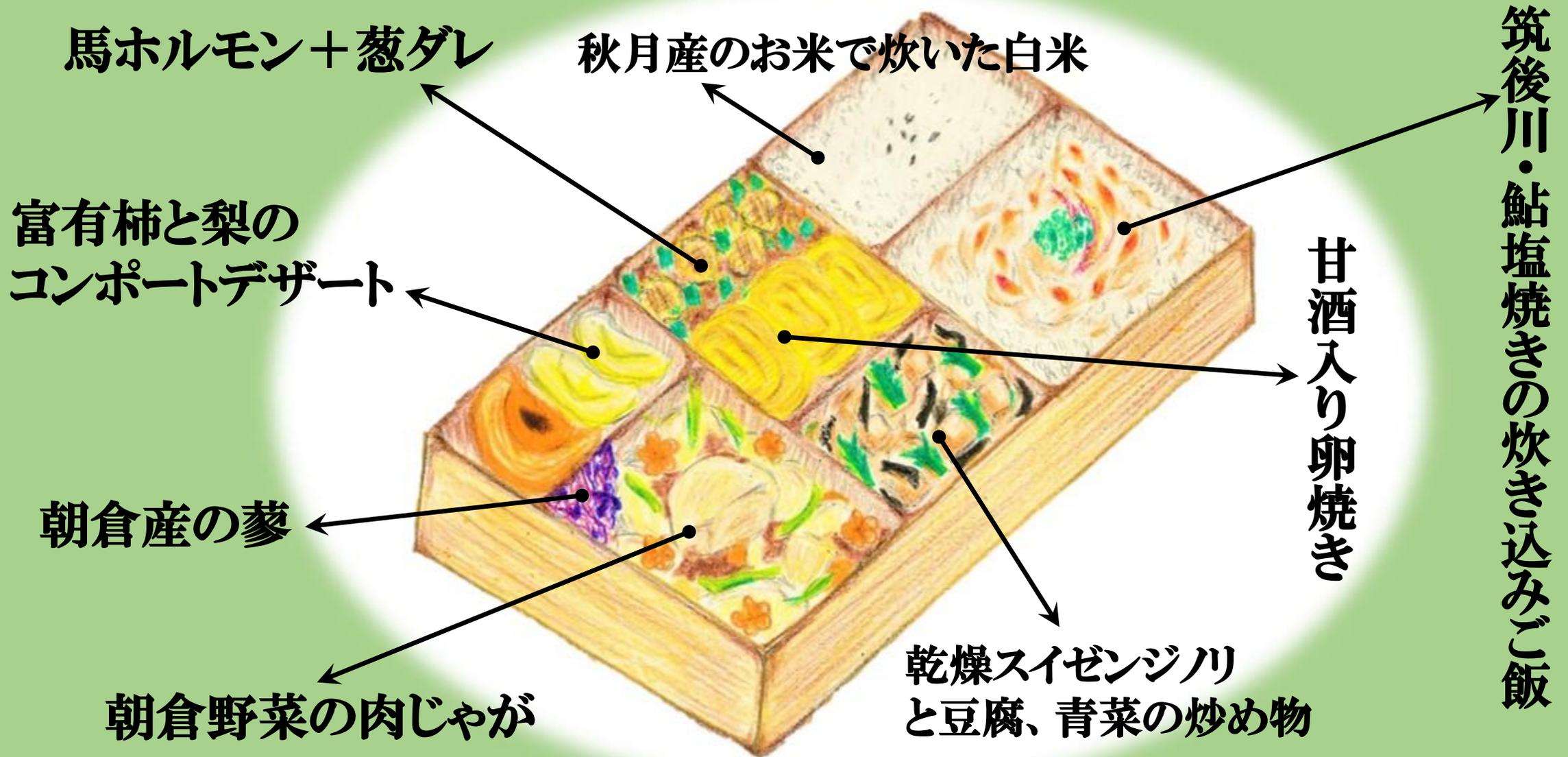
エリア内の全宿泊所で、朝食用に



「朝倉発の特選弁当」(仮称)を提供

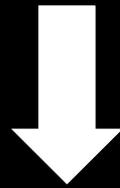
朝倉市を「通過型」ではなく、「宿泊型」の魅力的地域に変貌させるための1つの方法

「朝倉発の特選弁当」(仮称) のイメージ図



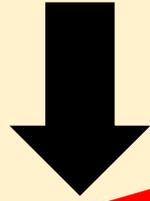
●3つめの柱(視点)

① 「あさくらフードパーク(仮称)」の建設・設置。



朝倉市内の全ての特産物が揃うフードパークで、従来型の「買う」・「食べる」だけではない、「体験できる」をキーワードとした新施設とする。

★例えば、ヤマメを釣って調理する設備を用意する。



体験



3つの柱の確認

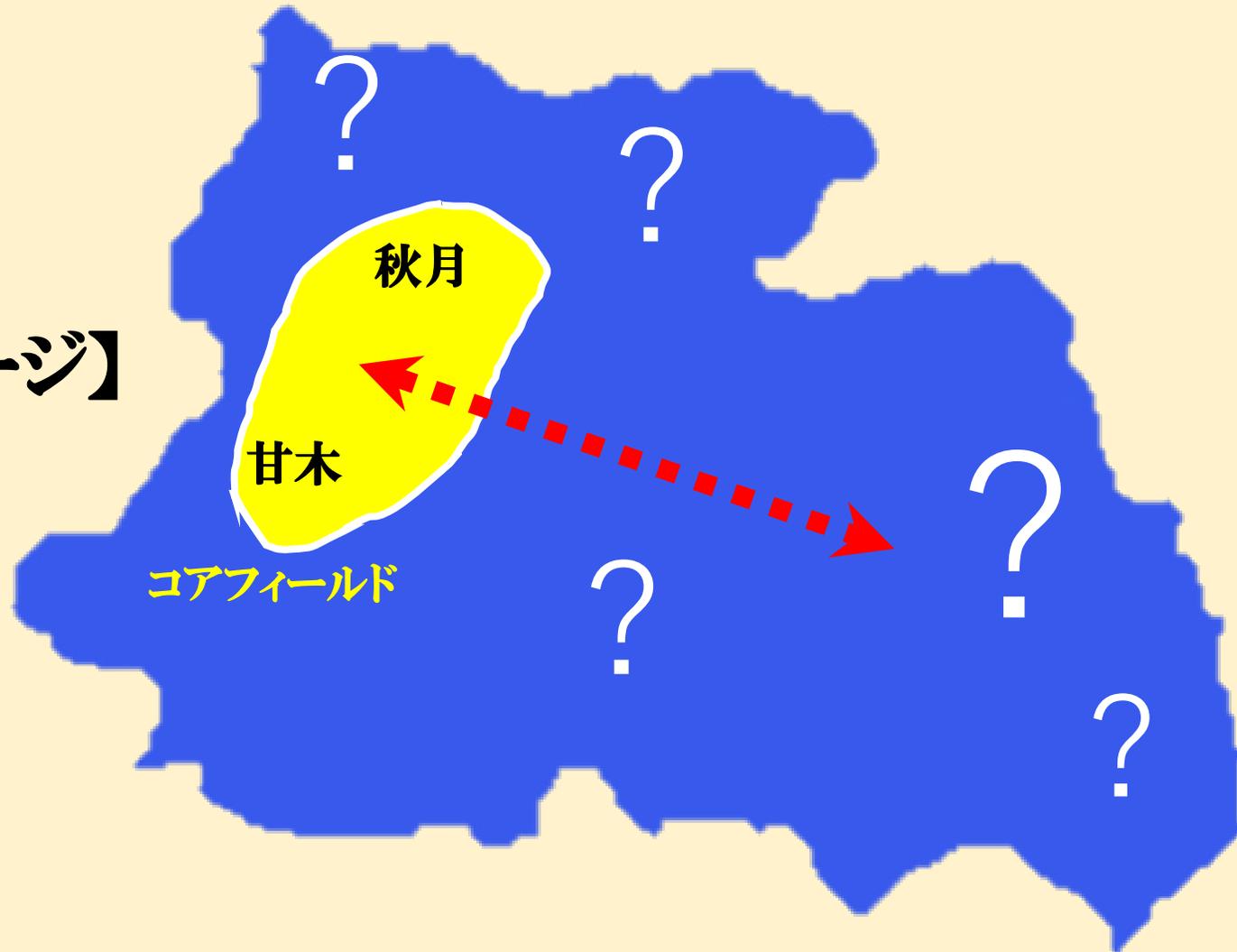
① 「インバウンド」を主要なターゲットにする。

② 「コアフィールド」となる拠点エリアを設定し、
先行開発・活性化の核とする。

③ 「あさくらフードパーク(仮称)」の建設。

コアフィールド以外との連結をどう進めるのか？

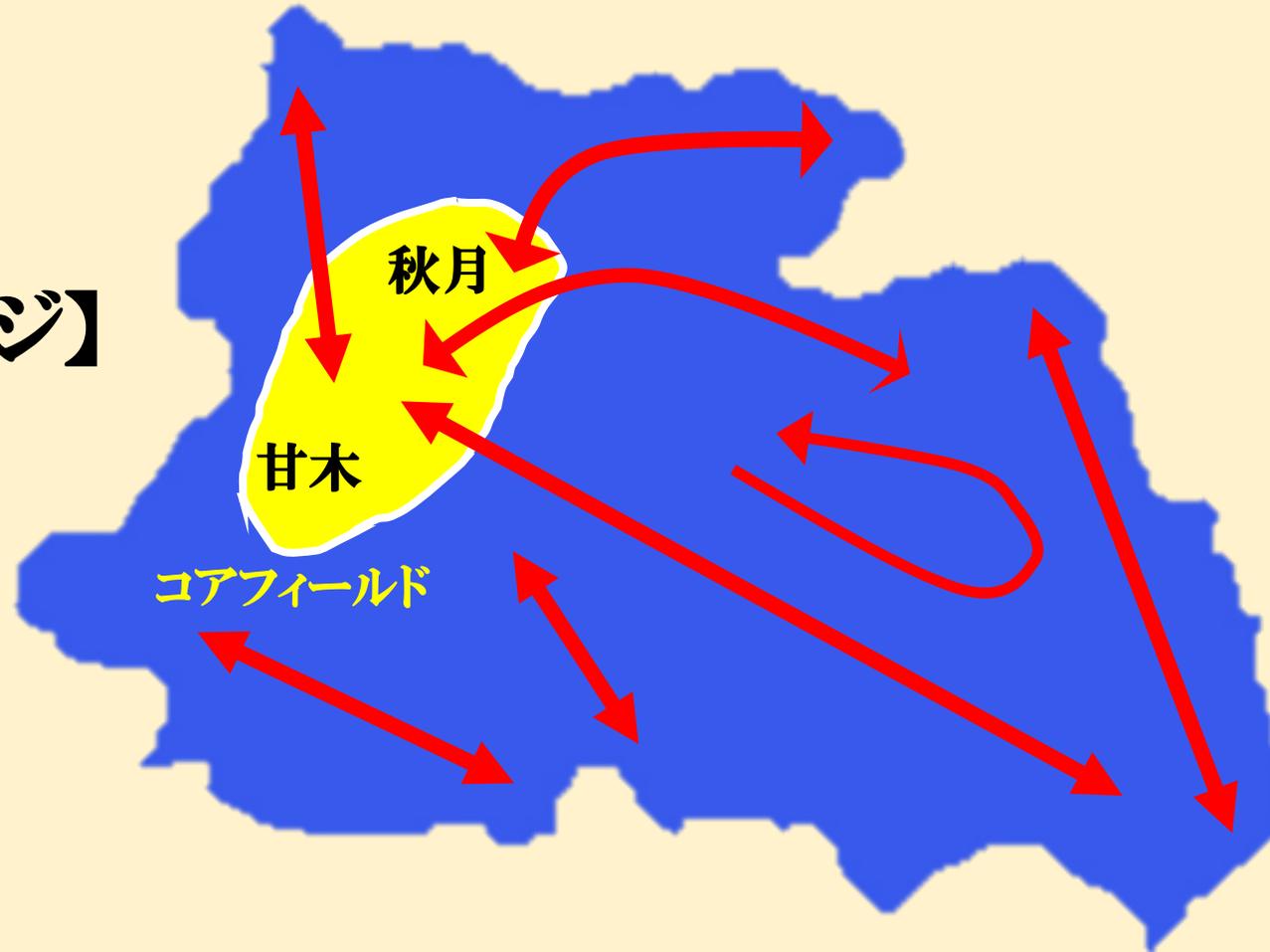
【イメージ】



①「準拠点」の設置による回遊性の向上

②巡回観光バスの就航による回遊性の向上

【イメージ】



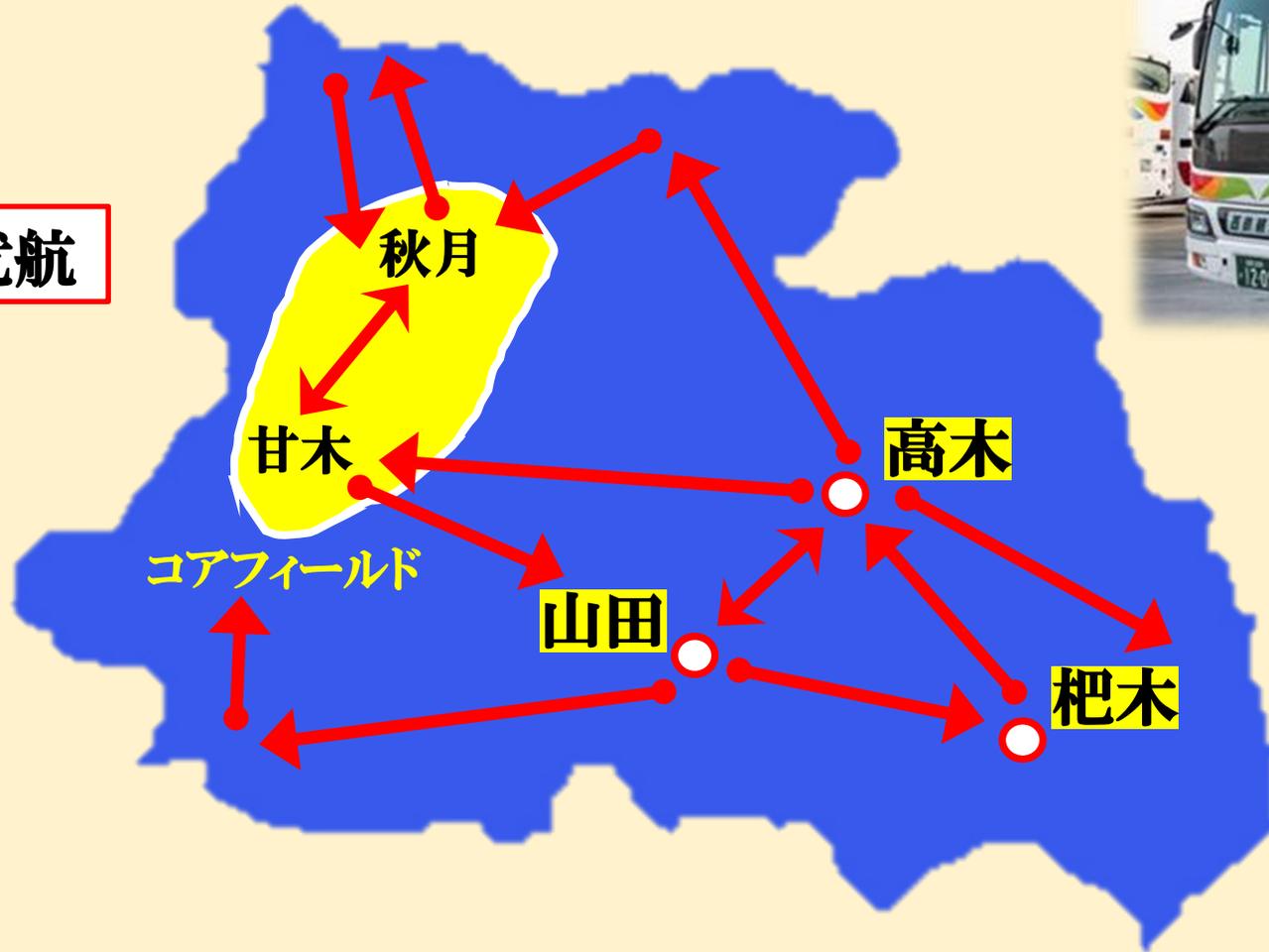
★「準拠点」→付近に「道の駅」や飲食店があるなど、
観光活動の拠点になり得る地域



準拠点地域

★「巡回観光バス」による回遊性の向上

巡回観光バスの就航



準拠点地域

回遊性を高めるための、プレゼント付き認定証

「あさくら」ラウンドスタンプ 認定証

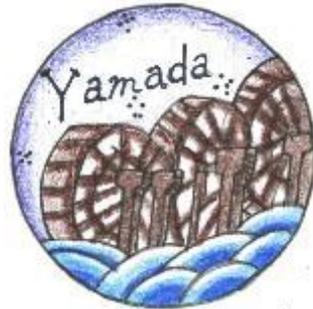
甘木



秋月



山田



高木



杷木



「コアフィールド」+「準拠点」を中心とした回遊性の確保
→「あさくらの食」をベースとした経済活性化が進むのではないか。



その他の補完的政策として

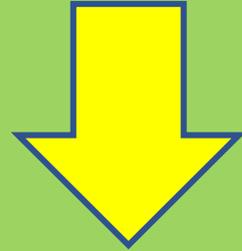
- ① 「SNS」(ツイッター、ライン、インスタなど)のフル活用。(プレゼント企画などを付加)
- ② インバウンド対応の多言語表示の推進。観光情報等が読みとれるQRコードの設置や観光アプリの開発。



～まとめに代えて～

- ①「インバウンド」をメインターゲットにした振興策を。
- ②「コアフィールド」を設定し、先行開発を進める。
- ③「あさくらフードパーク」の建設による活性化。
- ④SNSの活用、多言語表示、QR設置を進める。

最後に「ヒュッゲ」とは・・・



「人と人とのふれあいから生じる温かく、居心地のよい雰囲気や空間」を意味するデンマーク語

※他言語には言い換えが難しい用語と言われている。

「朝倉ヒュッゲ・プロジェクト」とは・・・

朝倉の伝統的な食材や特産品を活用しながら、人と人とのふれあいから生じる温かく、居心地のよい雰囲気にあふれる地域になってほしい。



「あさくらを、食べる」

～朝倉ヒュッゲ・プロジェクト～



朝倉高校 地域活性化戦略チーム

ご清聴ありがとうございました。